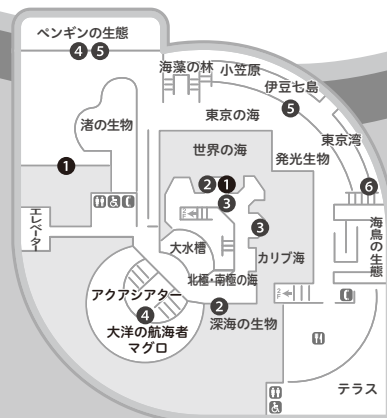


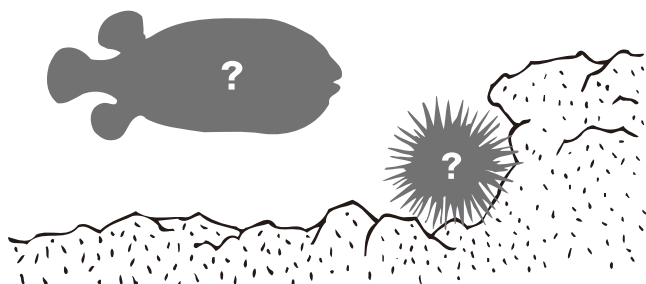
似ているところをさがしてみよう！

この生き物とあの生き物。全く違う生き物なのに比べてみると似ているところがあります。
問題になっている生き物を見比べて、似ているところを書いて下さい。



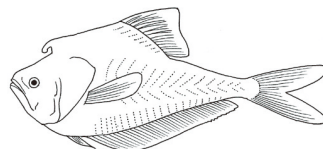
① 「10 オーストラリア南部」「しおだまり」

ハリセンボンの仲間サザングローブフィッシュとムラサキウニは、どちらも身を守るための武器を持っています。似ているところをさがしてみましょう。

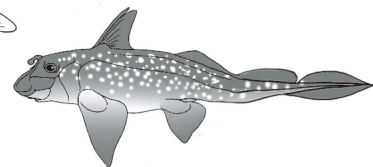


② 「8 オーストラリア北部」「26 深海の生物 5」

ナーサリーフィッシュとスポッテッドラットフィッシュのオスのからだには、繁殖の時に役立つ便利な工夫があります。似ているところをさがしてみましょう。



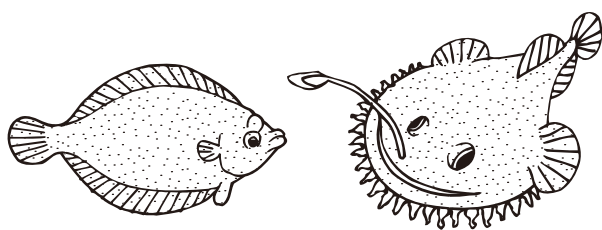
ナーサリーフィッシュ



スポッテッドラットフィッシュ

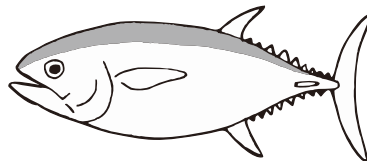
③ 「11 北太平洋」「18 北海」

アンコウの仲間キアンコウとカレイの仲間プレイスは、どちらも砂の上でくらすのに便利な工夫があります。からだを見比べてみましょう。



④ 「大洋の航海者 マグロ (アクアシアター)」 「ペンギンの生態」

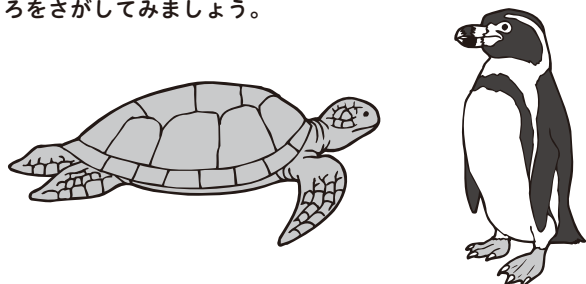
マグロとペンギン、どちらもからだには速く泳ぐための工夫があります。泳いでいるところを見比べて似ているところをさがしてみましょう。



⑤ 「38 小笠原の海 4」

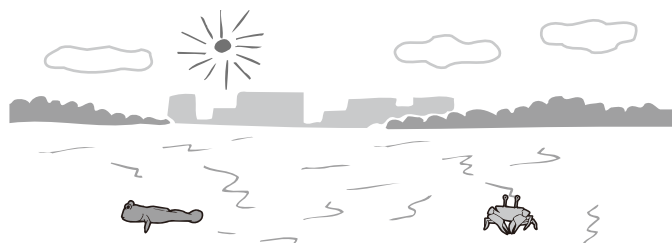
「ペンギンの生態」

ウミガメとペンギンは、広い海を泳ぎまわるくらしをしています。からだのどこをつかって泳いでいるのかを見て、似ているところをさがしてみましょう。



⑥ 「43 東京湾 泥干潟」

干潟の泥の上でくらすトビハゼとヤマトオサガニには、どちらも敵をより早く見つける工夫があります。からだを見比べて似ているところをさがしてみましょう。



※干潟とは見渡すかぎり平らなところだす

似て いるところを さがしてみよう！

メモ

この生き物と、あの生き物、見比べてみるとおもしろい。
似ているのはなぜ？ 違うのはなぜ？ 他の生き物でも調べてみましょう。

葛西臨海水族園

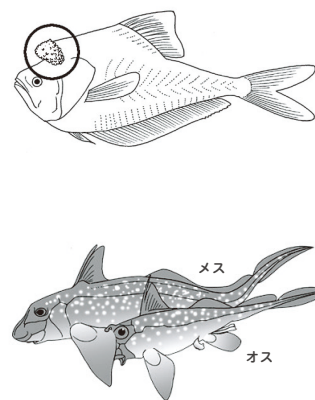
① 答え

サザングローブフィッシュはからだにトゲがたくさんあります。普段はトゲをねかせていますが敵に襲われそうになると、水をのんで膨らんでボールのようになります。ウニもたくさんのトゲをもっています。どちらも、たくさんのトゲで身を守っています。



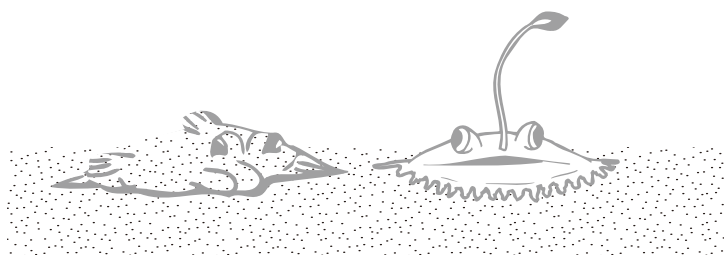
② 答え

ナーサリーフィッシュとスポットドラットフィッシュのオスには、おでこにフックがあります。ナーサリーフィッシュは、メスが産んだ卵をひっかけて持ち運ぶため、スポットドラットフィッシュは交尾をする時にメスをおさえるために、フックを使います。どちらも繁殖に役立っています。



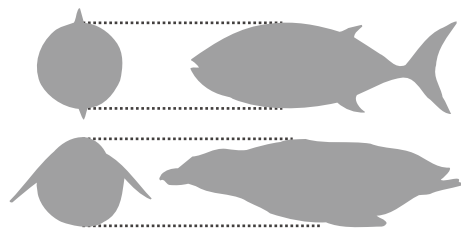
③ 答え

キアンコウとブレイスは、両方とも砂の上や中に身を隠すのがとても上手です。どちらもからだの形はベチャンコで、色は砂そっくりです。砂の上や中に上手に隠れて、近寄ってきた小魚をパクリと食べてしまいます。



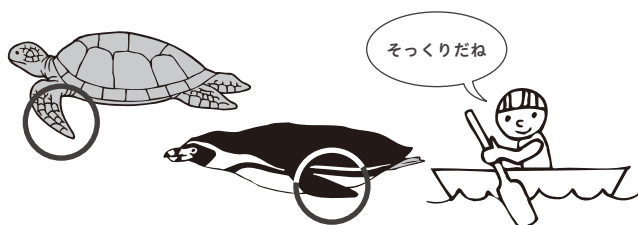
④ 答え

マグロとペンギンのからだの形を比べると、どちらもラグビーボールのような形をしています。マグロもペンギンも広い海を速いスピードで泳ぎまわり、魚などを捕まえて食べています。でっばりの少ない丸みのある形は、水中を速く泳ぐのにぴったりの形です。



⑤ 答え

ウミガメは前足を上下に振って泳いでいます。ペンギンは、翼を上下に振って泳いでいます。ウミガメの前足もペンギンの翼も、平たくて硬い、まるでボートのオールのようなのです。空気よりも重い水をおして泳ぐには、硬いオールのような形の足や翼が、とても便利です。



⑥ 答え

トビハゼとヤマトオサガニの目は、どちらもからだの上にあります。トビハゼの目は頭の上、ヤマトオサガニの目は長い棒の先にあります。干潟の上は、鳥などの敵がたくさんいます。少しでも目が上のほうにあれば、より遠くまで見渡せて、敵がやってきてもすぐに泥に掘った穴や水中に逃げることができます。

